



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 636 号

平成28年10月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : http://www.saitama-vma.org/
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男
編集責任者 大 橋 邦 啓
印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

平成28年度集合狂犬病予防注射実施者講習会 開催のご案内(予告)	1
埼玉県獣医師会主催 第38回ソフトボール大会 開催される	3

会務報告

第1回開業部会第1・第2運営委員会(合同)	8
第2回獣医事調査委員会	8
第1回厚生委員会	8

予告

西支部学術講習会のお知らせ	9
東支部学術講習会のお知らせ	9
北支部学術講習会のお知らせ	10
南第一支部・南第二支部合同学術講習会の お知らせ	10

新入会員報告

新入会員紹介	11
--------------	----

ひろば

新入会員の抱負	11
南第一支部・南第二支部合同学術講習会開催報告	12
動物慰霊祭および北支部学術講習会開催報告	12
第135回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会 コンペ結果報告	13
彩の国さいたま動物愛護フェスティバル	

2016開催される	14
-----------------	----

お知らせ

第13回日本獣医内科学アカデミー学術大会 参加者に対する助成金交付について	17
熊本地震ペット救援センター設置等に関する 募金のお知らせ	18
平成28年度日本獣医師会高度獣医療講習会 (関東地区:千葉県担当)開催のお知らせ	19
麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向 精神薬原料を指定する政令の一部を改正 する政令等の施行について	19
野鳥における高病原性鳥インフルエンザ ウイルス保有状況調査の実施について	20

切り抜きニュース

○周囲の声掛け 何よりも ー地下鉄転落事故1か月ー	21
○保護犬猫 シニアと生きる ー一時預かりボランティアもー	21
○ネコの腎不全 ネズミで原因解明 ー東大など 治療薬に期待ー	22

埼玉県獣医師会学術広報版	23
--------------------	----

事務局より

事務局メモ	25
編集後記	26

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県獣医師会 平成28年度集合狂犬病 予防注射実施者講習会開催のご案内（予告）

(公社)埼玉県獣医師会会長 高橋 三男
狂犬病予防委員会委員長 八木 賢裕

平成29年度集合狂犬病予防注射事業の的確な実施に向け、埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領及び同細部要領に基づき、平成28年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を下記のとおり開催します。また、今回は昨今の小動物獣医療を巡る情勢を踏まえ、狂犬病対策に加え、動物病院の今後の方向など、幅広い観点からの講習会といたしますので、集合狂犬病予防注射実施希望の先生におかれましては受講をお願いします。

1 日 時 平成28年12月7日(水)

受付 午後1時15分～

開会 午後1時45分

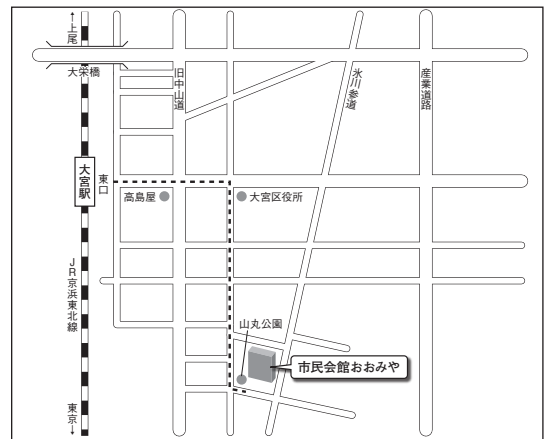
閉会 午後4時30分

2 場 所 さいたま市 市民会館おおみや 大ホール

さいたま市大宮区下町3-47-8

TEL:048-641-6131 FAX:048-641-6133

(JR 大宮駅下車 東口から徒歩10分)



3 内 容

(1) 会長挨拶

－動物病院の変遷と狂犬病予防注射の接種率を考える－

(2) 講演

① 狂犬病対策の体験を語る（仮題）

講師 埼玉県獣医師会 東支部 宮澤 勉 先生

② 集合狂犬病予防注射事業の全国的な動向とその対応（仮題）

講師 埼玉県獣医師会副会長 中村 滋 先生

(日本獣医師会狂犬病予防体制整備委員会委員)

③ 過去・現在から見た動物病院経営の将来展望は？（仮題）

講師 (株)メディカルプラザ代表取締役 西川芳彦 先生

④ 私の動物病院経営、経験から見えてきた現況と課題（仮題）

講師 埼玉県獣医師会 北支部 小林孝之 先生

(3) 事務連絡

4 その他

(1) 当日は時間厳守にてお願いします。

(2) ご不便をお掛けしますが、会場の駐車場(50台)は台数が限られておりますので、公共交通機関又は付近の有料駐車場を利用ください。

なお、次頁に周辺の主な有料駐車場を列記しましたので参考にしてください。

(参考)

「市民会館おおみや」周辺の有料駐車場

番号	名 称	住 所	収容台数
①	リパーク大宮浅間町1丁目第2	さいたま市大宮区浅間町1丁目15	14台
②	リパーク大宮浅間町	さいたま市大宮区浅間町1丁目19-7	9台
③	リパーク大宮浅間町1丁目	さいたま市大宮区浅間町1丁目100	23台
④	リパーク大宮浅間町2丁目	さいたま市大宮区浅間町2丁目18-3	4台
⑤	タイムズ大宮浅間町第2	さいたま市大宮区浅間町2丁目75	20台
⑥	タイムズ大宮浅間町	さいたま市大宮区浅間町2丁目145	10台
⑦	リパーク大宮吉敷町1丁目	さいたま市大宮区吉敷町1丁目90-4	8台
⑧	タイムズ大宮吉敷町	さいたま市大宮区吉敷町1丁目92	5台
⑨	SANパーク大宮吉敷2	さいたま市大宮区吉敷町1丁目95-1	36台
⑩	パラカ吉敷町第1	さいたま市大宮区吉敷町1丁目97	8台
⑪	パラカ吉敷町第3	さいたま市大宮区吉敷町1丁目107	5台
⑫	リパーク大宮吉敷町2丁目第2	さいたま市大宮区吉敷町2丁目101	14台
⑬	タイムズ大宮吉敷町第2	さいたま市大宮区吉敷町3丁目23	8台
⑭	NPC24H大宮駅東口パーキング	さいたま市大宮区下町1丁目58	240台
⑮	FP大宮下町第2パーキング	さいたま市大宮区下町2丁目25	4台
⑯	FP大宮下町パーキング	さいたま市大宮区下町2丁目32-2	5台
⑰	テクニカルパーク大宮下町	さいたま市大宮区下町2丁目59	12台
⑱	テクニカルパーク仲町第1	さいたま市大宮区仲町3丁目	6台



埼玉県獣医師会主催

第38回ソフトボール大会開催される

恒例の埼玉県獣医師会主催ソフトボール大会が平成28年10月10日（祝・月）に吉見総合運動公園で開催されました。平成25年から同公園を会場に大会を催してまいりましたが、過去3か年間は、台風等で一度も当初予定した日に開催できなかったことがなく、しかも平成27年は大雨で公園が冠水して使用できなくなり、中止を余儀なくされました。4年目の今年、初めて当初予定した日で大会を実施することができました。

第38回目を迎える今年の大会は、前日、2日間の雨にもかかわらず、幸いグラウンドコンディションに影響がなく開催することができました。

会場準備に当たっては、厚生委員を始め、御協力を頂いた先生方や賛助会員の方々に早朝から大変御苦労を頂きました。

また、午前8時から厚生委員会を開催して大会運営について協議いたしました。今年は終了時間を早めるため、1試合の時間を40分とし、昼食時間も40分に短縮して、午後2時頃には試合が終了できるよう決定した上で、午前9時に開会式を迎えました。



開会式で挨拶する高橋三男会長

開会式

開会式は、米元 仁厚生委員会副委員長の司会により進行されました。

山中利之厚生委員長の開会のことばに続き、高橋三男会長の挨拶、来賓の農林部畜産安全課長 岩田信之先生（農林支部）の御祝辞を頂きました。



埼玉県畜産安全課長 岩田信之先生（農林支部）



小沢一仁先生（西支部）による選手宣誓

続いて、吉見町ソフトボール協会所属の矢澤さんなど6名の審判員の紹介、対戦でのルールと注意事項の説明、一昨年優勝の西支部チームの馬島暁彦先生（西支部）が優勝カップの返還を行い、小沢一仁先生（西支部）が選手宣誓を行いました。

次に、賛助会員様からの御協賛品の紹介、原 裕委員（農林支部）の先導による準備体操の後、午前9時30分から試合が開始されました。

優勝を目指して14チームが熱戦

予定していた14チーム全てが参加するなか、高橋三男会長、中村滋、小暮一雄両副会長及び岩田信之畜産安全課長（農林支部）により始球式が行われ、優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

試合は、一回戦の敗者チームが戦う特別戦や賛助会員同士の対戦も組まれ、トーナメント形式により延べ21試合の戦いが5面のグラウンドで行われました。

厚生委員の先生方の適切な運営により円滑に進み、日頃の練習成果を如何なく発揮して、豪快なフルスイングや泥まみれで白球を追う姿に、選手も応援団も一喜一憂し、試合を重ねるごとに熱気を帯びた戦いとなりました。



グラウンドでは熱戦が繰り広げられた

交流を深める各チーム

時間を短縮したため休憩時間を取ることができませんでしたが、試合の合間を縫って、昼食にさせていただきました。

恒例で行っていましたがバーベキューは、残念ながら公園側から中止の指示があり実施することができませんでしたが、慌ただしい中でも昼食を楽しむ姿が見られ、会員相互の交流を深めることができました。

決勝戦 — さいたま市チームが優勝！ 特別戦は選抜チームが制する —

準決勝は東支部Aチームとさいたま市支部チーム、東支部Bチームと西支部Aチームの対戦となり、一昨年の覇者の西支部Aチームと一昨年準優勝のさいたま市支部チームが勝ち上がり、決勝で激突しました。

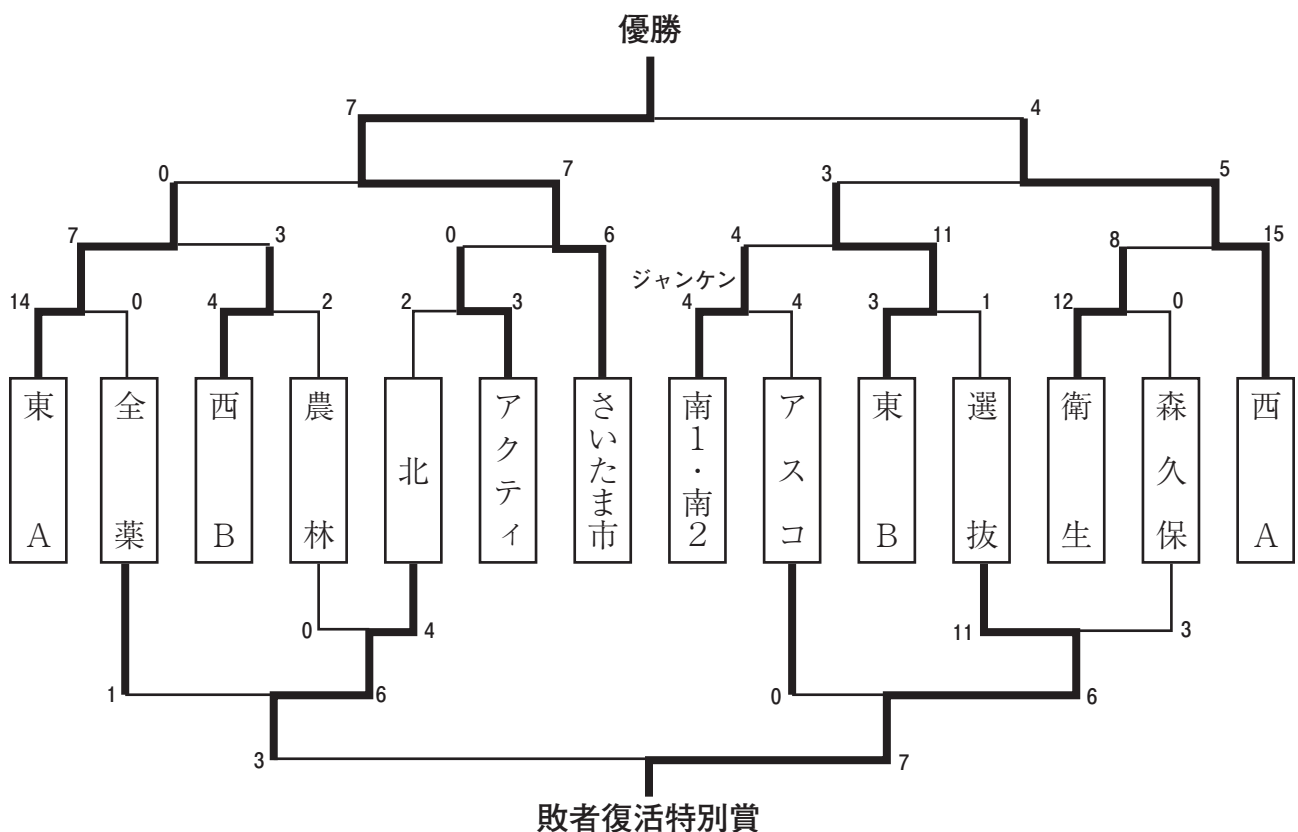
一昨年と同じ対戦となった決勝は、初回にリードを許したさいたま市支部チームが、2と4回にも点を挙げて逆転し、7対4で3年ぶりの栄冠を手に入れました。

一方、敗者復活の特別戦は、選抜チームが制しました。1回戦の敗退にも気後れせずに選抜チームが、決勝では北支部チームを破り、めでたく特別賞を獲得い

たしました。選抜チームは人数が当初から不足気味でしたが、西支部チームやさいたま市支部チームを中心に構成され、メンバーも試合ごとに一部の選手が入れ替わるなど、大変だったにもかかわらず、よくまとまって戦われました。



決勝戦でのさいたま市チームと西支部Aチーム



決勝戦 対戦表

回数 チーム名	1	2	3	4	5	計
西 A	4	0	0	0	0	4
さいたま市	3	2	0	2	×	7

閉会式

熱戦を終えて午後2時40分から閉会式が行われました。

嘉戸達郎委員（東支部）が成績を発表し、優勝したさいたま市支部チーム、準優勝の西支部Aチーム、3位の東支部Aチーム及び東支部Bチーム、また、特別戦を制した選抜チーム、賛助会員の対戦で優勝した森久保薬品チームに高橋三男会長から賞状やトロフィーが授与され健闘を称えました。



優勝のトロフィーを手にするさいたま市支部チーム
右から 永野憲次先生、高橋三男会長



特別賞の選抜チーム
代表して受賞する西支部チームスタッフ
右から 並木 進様、大久保 亮様

また、大会を最も盛り上げてくれた選手お二人に最高殊勲選手賞と敢闘賞を授与するとともに、開催の準備と運営に多大な御協力を賜りました審判団には、記念品を贈呈し、その労をねぎらうとともに感謝の意を表しました。

大会を盛り上げてくれた選手は次の方です。

最高殊勲選手賞	団体支部	篠原啓晃選手
敢闘賞	東支部	渋谷正志選手



最高殊勲選手賞を受賞した篠原啓晃選手（団体支部）



敢闘賞を受賞した渋谷正志選手（東支部）

終わりにあたり、小暮一雄副会長の万歳三唱と中村滋副会長の閉会の言葉をもって、第38回ソフトボール大会は午後3時に盛会裡のうちに無事、幕を閉じました。



優勝を飾った喜びのさいたま市支部チームの皆様

当日は、あいにく曇りの天気となりましたが、スポーツをするのにはちょうど良い温度でありました。賛助会員の1チームが本試合と賛助会員間での試合とが重なって賛助会員間の1試合ができなくなりましたが、それ以外の試合は全て行うことができました。

開催にあたり厚生委員の先生方を始め、お手伝い頂いた皆様には、早朝からグラウンド整備や大会の準備に御苦労を頂きました。特に、大山通夫先生には審判団の手配などに大変な御尽力を賜りました。

また、賛助会員の皆様には多くの賞品等を御協力頂くなど御支援を賜り厚く御礼申し上げますとともに、お忙しい中、御参加を頂いた多くの会員の先生方、並びに御家族の皆様に変更して感謝申し上げます。



参加者全員で記念撮影

会 務 報 告

第 1 回開業部会第 1 ・ 第 2 運営委員会(合同)

平成28年 9 月30日(金)午後 1 時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

本委員会には開業会員に係わる諸問題を検討していただいております、動物病院にとって最も大事な委員会である。本日は、両委員会に共通する問題と個別の問題についてしっかり協議していただきたい。

2 協議事項

(1) 獣医事を巡る情勢について

獣医師の就業状況や狂犬病の研修などについて意見交換した。

(2) 会員の入会促進について

入会を案内するためのリーフレットの作成等について検討した。

(3) 傷病野生鳥獣対策について

平成27年度傷病野生鳥獣治療業務費の配分と県の第12次鳥獣保護管理事業計画案について検討した。

第 2 回 獣医事調査委員会

平成28年10月 3 日付けで各委員あての書面により次の事項を協議した。

協議事項

新入会員の審査について

入会申込書が提出されている衛生支部 2 名、農林支部 3 名及び団体支部17名の入会について審査し、全て適正と認め理事会に付議することとなった。

第 1 回 厚生委員会

平成28年10月10日(祝・月)午前 8 時から、吉見町の埼玉県吉見総合運動公園内において、第38回ソフトボール大会の開催に向けて会場の準備や大会運営について再確認した。

また、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会について協議し、次のとおりの開催が決定した。

名 称	(公社)埼玉県獣医師会主催ボウリング大会
開催日	平成29年 2 月12日(日)
場 所	スポーツ浦和国際ボウル(さいたま市桜区)
範 囲	会員、会員の家族及び従業員、賛助会員
規 模	60名(20レーン)



予 告

西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1)・小3(6))

西支部長 別部 博司

西支部では、平成28年12月4日(日)に東京動物心臓病センター センター長 岩永孝治 先生をお招きして『猫の循環器診療アップデート』の演題で講習を行います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

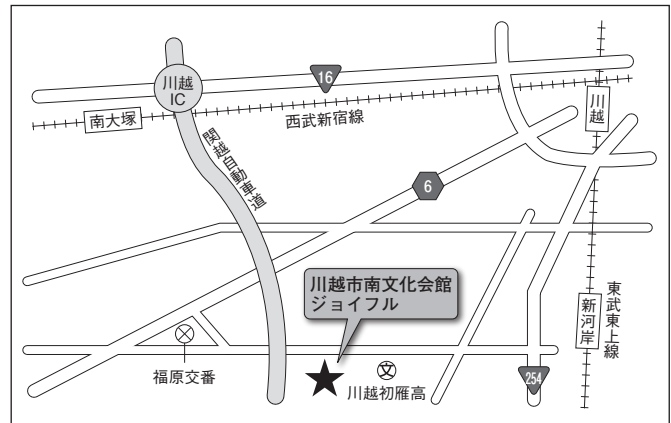
日 時 平成28年12月4日(日)
13:30~16:30 (13:00受付)

場 所 川越市南文化会館(ジョイフル)
川越市今福1295-2
TEL 049-248-4115

演 題 「猫の循環器診療アップデート」

講 師 東京動物心臓病センター
岩永 孝治先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

東支部長 八木 賢裕

東支部では、11月27日(日)長谷川 大輔先生(日本獣医生命科学大学 脳神経外科 准教授)をお招きして、「遭遇頻度の高い脳疾患」と題し、学術講習会を開催いたします。

脳疾患の診断はMRIの普及により飛躍的に進んだことはいまでもありません。これに伴い様々な脳疾患が生前診断そして治療されるようになってきました。今回の講習会では、脳疾患をDAMNIT-V(変性、奇形、代謝性、腫瘍性、炎症性・特発性、外傷性、血管障害性)に分類し、各々本邦の小動物臨床で遭遇しやすいものをピックアップし、その診断と治療について解説していただきます(ただし、本講演では最も遭遇頻度の高いてんかんは除く)。

日常の診療の中で思っている疑問に答えるセミナーを最新情報と交えて企画しました。多くの先生の参加をお待ちしています。

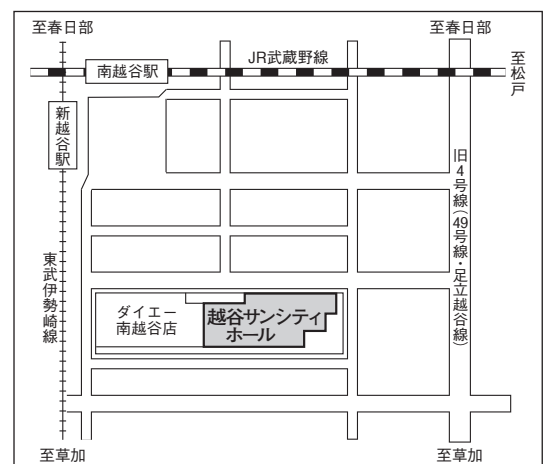
日 時 平成28年11月27日(日)
14:30~18:00頃 (受付14:00~)

場 所 越谷サンシティ
越谷市南越谷1-2876-1
TEL 048-985-1111

演 題 「遭遇頻度の高い脳疾患」

講 師 日本獣医生命科学大学 脳神経外科
准教授 長谷川 大輔先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)



予 告

北支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(7))

北支部長 大橋 邦啓

北支部では、12月11日(日)に日本大学 獣医内科学研究室 教授 亘 敏広先生をお招きして学術講習会を開催いたします。「難治性消化器疾患と内視鏡検査(仮)」と題しまして講義していただくことになりました。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時	平成28年12月11日(日)
	研修会 13:30~17:00
場 所	熊谷文化創造館 さくらめいと 会議室2 熊谷市拾六間111-1 TEL 048-532-0002
演 題	「難治性消化器疾患と内視鏡検査(仮)」
講 師	日本大学 獣医内科学研究室 教授 亘 敏広先生
参 加 費	埼玉県獣医師会会員 無料 会員以外の受講者 3,000円



南第一支部・南第二支部合同学術講習会開催のお知らせ

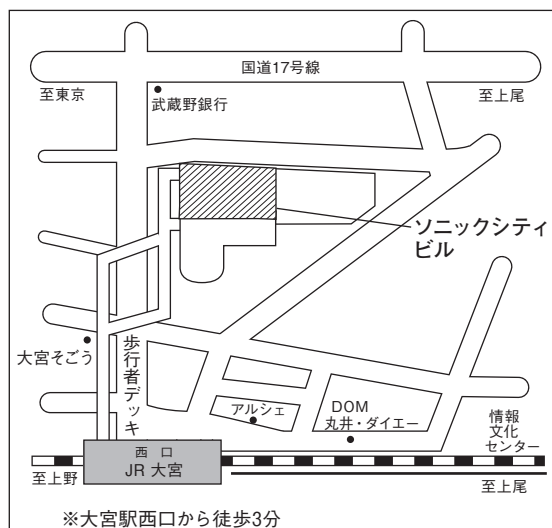
(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小3(10))

南第一支部長 田中 裕
南第二支部長 長澤 泰保

南第一支部、南第二支部では、12月18日(日)東京大学 教授 松木直章先生をお招きして学術講習会を開催することとなりました。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時	平成28年12月18日(日)
	14:00~17:00(受付13:30~)
場 所	大宮ソニックシティビル 604会議室 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-4111
演 題	「犬の特発性てんかん・特発性脳炎の診断と治療」
講 師	東京大学 教授 松木 直章先生
参 加 費	埼玉県獣医師会会員 無料 会員以外の受講者 5,000円



新入会員報告

新 入 会 員


 にのみや ひさのり
 二宮 尚徳

 さいたま市在住
 団体支部

勤務部会

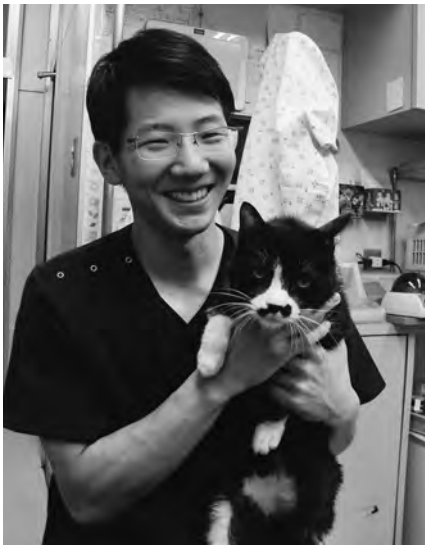
支 部 名	氏 名	診療所所在地・勤務先
団 体	二 宮 尚 徳	さいたま市 衆議院議員村井秀樹事務所

ひろば

 新入会員の抱負
 埼玉県獣医師会に入会して

団体支部 吉武 勇人

(片岡愛犬病院)



病院猫のヒゲと

一昨年より埼玉県獣医師会に入会させていただきました、吉武勇人（よしただけはやと）と申します。

2014年に酪農学園大学を卒業してから、さいたま市見沼区の片岡愛犬病院に勤務させて頂いています。“卒業後、小動物臨床を考えているのなら、学生の間は小動物臨床とは違うことをやった方が良い”と言われ、在学中は獣医ウイルス学教室にて、ウマヘルペスウイルスについて研究しておりました。

さいたま市は、私の地元である愛媛県(今治市)とは比べものにならないくらい都会ですが、こと見沼区は都内へ出やすいというメリットがありながら、都会過ぎず身近に自然も多く大変住みやすい街だと思っています。最近では、自転車通勤途中にあるお家から金木犀の良い香りがするようになり、秋を感じています。

基礎研究室出身の私が臨床を初めて三年目、まだまだ未熟で分からないことだらけですが、片岡院長の熱心な指導のおかげで、ようやく

獣医師としてのスタートラインに立てたのではないかと思います。

埼玉県獣医師会では、大変有名な先生をお招きして様々な内容の学術講習会をほぼ毎月開催しており、会員は無料でその講習会に参加できます。このことは、時間とお金のない勤務医(私だけでしょうか……)にとってはとても魅力的であり、活用しない手はないと思っています。また、その講習会は翌日からの診療にすぐに活かせる内容のものばかりなので、自分のレベルアップにも繋がっています。開催場所は支部ごとに違っており、さいたま市から少し遠いところもありますが、埼玉になじみのない私にとっては講習会がちょっとしたお出かけのようにも思えて、いい気分転換になります。

今後も埼玉県獣医師会の開催する講習会には積極的に参加し、獣医師として少しでも成長できるよう努力していきますので、埼玉県獣医師会の先生方には今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

南第一支部・南第二支部合同学術講習会開催報告

南第一支部長 田中 裕

南第二支部長 長澤 泰保

南第一支部・南第二支部では、10月2日(日)大宮ソニックシティビルにて、日本獣医生命科学大学の宮川優一先生をお招きして、「猫の腎臓病」について講義をしていただきました。

現在の猫の腎臓病における問題点や新しい知見を交えながら、わかりやすい解説とともに有意義な講義となりました。また、日常遭遇する疾患であるため、活発な質疑応答も行われました。

当日はたくさんの先生方にお越しいただき、若干会場が狭く、お越しいただいた先生方に窮屈な思いをさせてしまったことをお詫び申し上げます。

また、宮川先生には、お忙しいなか講演をしていただき、厚く御礼を申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南第一支部	南第二支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
45名	8名	11名	10名	2名	0名	7名	7名	0名

動物慰霊祭および北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓

動物慰霊祭および北支部講習会を、10月12日(水)埼玉県熊谷家畜保健衛生所にて開催いたしました。動物慰霊祭終了後に行われました講習会は、鹿児島大学 客員教授 松本修治先生をお招きし、「開発者から伝えたい、明日からの診療に役立つ…抗菌薬情報」というテーマでご講演をいただきました。

抗菌薬に関しての基礎的分野から実際の診療に役立つ抗菌薬同士の併用効果や薬剤分布における適切な使用方法、耐性菌対策について、バイオフィルムについてと短い時間ではありましたがわかりやすく解説して頂きました。盛りだくさんの講演内容で、ご参加いただきました先生方にとっては、たいへん有意義な研修会となったものと思います。

<参加者内訳>

出席者	北支部	農林支部	団体支部
22名	13名	7名	2名



慰 霊 祭

第135回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川繁雄

幹事 さいたま市支部 小堺 正人

西支部 岡田かおり

台風18号が奇跡的に関東を避けて通過し、真夏日を記録した10月6日(木)、OGM 武蔵ゴルフクラブにおいて第135回(公社)埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが21名の参加者で開催されました。真夏のような日差しとコースを渡る涼しい風の中よく手入れをされたコースで、ゴルフを満喫してまいりました。

成績は以下の通りです。

優 勝	小 島 満 先生(北支部)	NET 70ストローク
準優勝	田 口 修 先生(東支部)	NET 71ストローク
第3位	長谷川繁雄 先生(東支部)	NET 73ストローク
ベストグロス	小堺 正人 先生(さいたま市支部)	79ストローク



左から 長谷川繁雄先生(3位)、小島満先生(優勝)、田口修先生(準優勝)

次回第136回ゴルフコンペは、12月8日(木)鴻巣カントリークラブにて開催予定です。

同好会では新規参加者を常時歓迎いたしております。

一緒にゴルフを楽しみませんか。



参加者一同

彩の国さいたま 動物愛護フェスティバル2016 開催される

埼玉県動物指導センター所長 中村 眞幸

9月22日（木、秋分の日）、加須市「パストラルかぞ」を会場に、平成28年度動物愛護週間記念事業として、埼玉県と埼玉県加須狂犬病予防対策協議会との共催で、（公社）埼玉県獣医師会の御後援を受けて、「彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2016」を開催いたしました。

動物愛護フェスティバルは、動物の愛護及び管理に関する法律第4条に基づく動物愛護週間事業のひとつとして、広く動物愛護思想の普及啓発を図ることを目的に、平成5年度から毎年、「人と動物が共存できる豊かな社会をめざして」をテーマに、県内の各地域で実施しております。

開催にあたっては、埼玉県加須狂犬病予防対策協議会所属の（公社）埼玉県獣医師会会員の皆様、並びに毎年当事業に多大な御理解と御支援をいただいております（公社）埼玉県獣医師会の高橋会長様をはじめとする多くの会員の皆様に会場の選定や企画等について御指導と御協力をいただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。



受賞者（動物愛護管理功労者）を囲んで

前列左から 中村眞幸動物指導センター所長、三田和正埼玉県保健医療部生活衛生課長、高橋三男埼玉県獣医師会長、動物愛護管理功労者表彰を受けられた堅木道夫先生（西支部）、大橋良一加須市長、中村滋加須狂犬病予防対策協議会長・埼玉県獣医師会副会長（東支部）

後列左から 本橋功一先生（東支部）、高橋秀児先生（東支部）、福田久博先生（東支部）

動物愛護管理功労者表彰と長寿犬・長寿猫の飼育者への感謝状の贈呈

彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2016記念式典は、「パストラルかぞ」の小ホールで午後1時30分から始まり、来賓として大橋良一加須市長をお迎えして御祝辞をいただくとともに、御後援者として御出席いただきました（公社）埼玉県獣医師会長 高橋三男様から本事業への力強い応援と御祝辞をいただきました。

さらに、高橋獣医師会長からは、堅木道夫先生（埼玉県獣医師会西支部川越分会）と田中裕先生（埼玉県獣医師会南第一支部川口分会）の両先生に、（公社）日本獣医師会長表彰として動物愛護管理功労者表彰状の伝達を行っていただくとともに、飼い犬管理模範

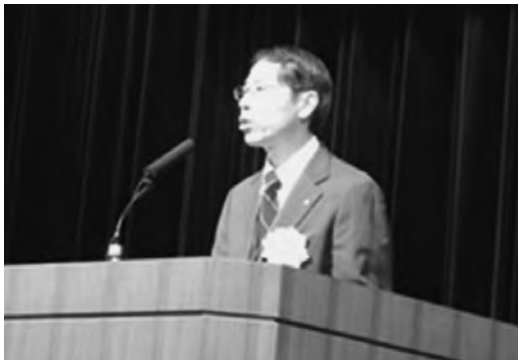
の家表彰式において、埼玉県狂犬病予防協会会長として2名の飼い主の方に表彰状の贈呈を行っていただきました。

続いて、長寿犬の飼育者に対して、埼玉県加須狂犬病予防対策協議会長 中村滋先生による表彰状贈呈が行われ、長寿犬187頭の飼育者の皆様に表彰状が手渡されるとともに、長寿猫の飼育者に対して、動物指導センター所長から感謝状贈呈が行われ、長寿猫33頭の飼育者の皆様に感謝状が手渡されました。

会場は受賞者やそれを祝う皆様などで溢れるばかりの盛況となり、広く動物愛護に関する普及啓発を行うことができました。



開会式典



主催者あいさつをする
中村真幸埼玉県動物指導センター所長



主催者あいさつをする
中村滋加須狂犬病予防対策協議会長



来賓あいさつをされる
大橋良一加須市長



後援者あいさつをされる
高橋三男会長

「パストラルかぞ」を会場に多彩な催しを開催

当日は、あいにくの天候にもかかわらず、多数の熱心な来場者が来訪し、来場者数は約500名となりました。

今回の動物愛護フェスティバルは、第1会場として「パストラルかぞ」の小ホールで動物愛護に関する映画の上映と記念式典を、また、第2・第3会場として「パストラルかぞ」の生涯学習棟で、各種イベントや動物防災展を行いました。特に、イベント会場で行われた（一社）日本聴導犬推進協会による「聴導犬のお話とデモンストレーション」や盲導犬を使用されている方のお話は、人と動物が生活の中で互いに補いつつ生活する姿が示され、参加者に強い感銘を与えました。

このほか、子供のための獣医師体験コーナーや動物の飼育相談、マイクロチップの測定体験、動物クイズなどの各種の催しや、動物防災展など、動物愛護や正しい犬・猫の飼い方に関する展示などとともに、広く動物愛護に関する普及啓発を行うことができました。

動物愛護フェスティバル2016が盛況のうちに終了できましたことは、皆様の多大なる御協力の賜と存じます。ここに、御来場、御参加いただきました方々、関係各位に改めて感謝を申し上げます。



（一社）日本聴導犬推進協会による
「聴導犬のお話とデモンストレーション」



獣医師体験コーナー



防災展示コーナー



展示コーナー

お知らせ

第13回日本獣医内科学アカデミー学術大会参加者 に対する助成金交付について

本会では会員の獣医学術の研鑽向上に向け、標記学術大会に参加した開業支部会員を対象に「参加登録費」の一部を助成金として交付しております。

つきましては、助成金交付を希望される先生は下記により事務手続きをお願いします。

1 第13回学術大会

- (1) 開催月日 平成29年2月17日(金)～19日(日)
- (2) 会場 「パシフィコ横浜」 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
- (3) 主催 日本獣医内科学アカデミー (JCVIM)
- (4) 参加登録費 (抄録は別)

(※学会会員、共催団体の埼玉県獣医師会会員、非会員とも同額)

	事前登録	当日登録
一般参加者	20,000円	28,000円
1日参加者		
2月17日(金)	12,000円	17,000円
2月18日(土)・19日(日)	13,000円	18,000円
抄録集(冊子)	3,000円(2冊セット)	

※抄録集(PDFバージョン)はHPよりダウンロード可能

- (5) 事前参加登録締切 平成29年1月25日(水)
今回からオンライン登録のみの受付となりました。

2 助成金

- (1) 助成金額 1人当たり 5,000円 (開業支部会員に限る。)
- (2) 助成金交付事務手続き

「参加登録費」の支払いを証する書面(下記の何れか)の写しを埼玉県獣医師会事務局まで提出してください。

- ・「登録費領収書」
- ・「参加登録証(E-mail)」

提出期限 平成29年3月9日(木)まで(必着)

※ 本学術大会の詳細な内容等については、「日本獣医内科学アカデミー学術大会」ホームページをご覧ください。

熊本地震ペット救援センター設置等に関する募金のお知らせ

日本獣医師会では熊本震災の被災者を支援するためにペットを預かる「熊本地震ペット救援センター」を運営することとしています。このたび、当該施設の設置に資するために寄付金募集を開始することとし、「熊本地震ペット救援センター設置等に関する指定寄付金募集要項」が次のとおり定められたので、お知らせします。

なお、詳しくは日本獣医師会のホームページ「トピックス」をご覧ください。

熊本地震ペット救援センター設置等に関する指定寄附金募集要綱

公益社団法人 日本獣医師会

- 1 寄附金募集法人名：公益社団法人 日本獣医師会
- 2 寄附金募集責任者：会長 藏 内 勇 夫
- 3 寄附金募集を行う事務所の所在地：
〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館23階
- 4 寄附金を募集する目的：
熊本地震に際して組織された「熊本地震ペット救護本部」（構成団体：熊本県、熊本市、一般社団法人熊本県獣医師会及び一般社団法人九州動物福祉協会）では、この度、ペット（犬猫）を飼養する被災飼い主の方々の仮設住宅入居を支援するために、そのペット（犬猫）を緊急に一定期間お預かりする「熊本地震ペット救援センター」を設置することといたしました。そこで、この「熊本地震ペット救援センター」を、被災された犬猫の飼い主の方々から一定期間その犬猫をお預かりするための施設として早急に整備するにあたり、広く寄附金を募集いたします。
- 5 募集する寄附金の使途内容：
熊本地震ペット救護本部が、本地震災害で犬猫を飼養する被災飼い主の方々が仮設住宅に入居する際に、その飼い犬・猫を一定期間お預かりする施設としての「熊本地震ペット救援センター（設置予定地：大分県玖珠郡九重町）」を設置するための費用
- 6 募集目標金額：
2億2千6百80万円（募集金額の上限に達した時点で終了となります。）
- 7 募金の対象：趣旨にご賛同いただく全国の法人・個人
- 8 募集期間：平成28年(2016年)9月26日から平成29年(2017年)3月25日まで
- 9 申込並びに送金方法：
添付の指定寄付金申込書を日本獣医師会事務局に送付（郵送、ファックス又は電子メール）いただくとともに、寄附金を次の専用口座へお振込みください。

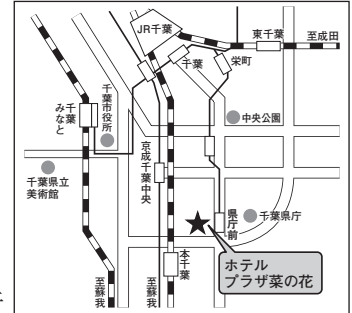
金融機関名：三菱東京UFJ銀行（0005） 青山通支店（084）
口座番号：普通 0301082
口座名義：公益社団法人日本獣医師会（コウエキシャダンハウジンニホンジュウイシカイ）
- 10 募集した寄附金の管理の方法：上記の専用口座で管理します。
- 11 税制上の優遇措置：
所得税法上及び地方税法上、控除が認められる寄附金（所得税法第78条第2項第2号並びに地方税法第37条の2及び第314条の7）、法人税法上、特別損金算入が可能な寄附金（法人税法第37条第3項第2号及び第4項）であることを申し添えます。
- 12 その他：熊本地震ペット救援本部の動物救護活動等の終了後は、今後の緊急災害時に備えた支援施設の一部として活用する予定としています。
- 13 連絡先：
公益社団法人日本獣医師会（担当：原、尾崎、四宮）
〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館23階
TEL：03(3475)1601 FAX：03(3475)1604
E-mail：hara@nichiju.or.jp/ozaki@nichiju.or.jp/soumu@nichiju.or.jp

平成28年度 日本獣医師会高度獣医療講習会 (関東地区：千葉県担当) 開催のお知らせ

日本獣医師会の高度獣医療講習会(関東地区)が千葉県の担当で下記のとおり開催されますのでお知らせします。

日 時 平成28年12月7日(水)
午後1時30分～午後4時30分
場 所 ホテル「プラザ菜の花」 5階 「あやめ」
千葉市中央区長洲1-8-1
TEL 043-222-8271
交通 千葉都市モノレール 県庁前駅 すぐ脇

- 講習内容**
- (1) 牛ウイルス性下痢・粘膜病の発生事例
講師 牧野英司 先生
千葉県農業共済組合連合会西部家畜診療所関宿出張所
 - (2) 牛ウイルス性下痢・粘膜病のPI牛が生産性に与える影響
講師 清水秀茂 先生
千葉県農業共済組合連合会西部家畜診療所八千代出張所
 - (3) 牛ウイルス性下痢・粘膜病の清浄化対策
講師 塚原涼子 先生
千葉県農林水産部畜産課
 - (4) 飼養衛生管理基準の見直しについて
講師 藤川英一郎 先生
千葉県農林水産部畜産課



参加を希望される先生は、11月25日(金)までに埼玉県獣医師会事務局までご連絡ください。

TEL 048-645-1906
FAX 048-648-1865
メール s-vma@vesta.ocn.ne.jp

28日獣発第178号
平成28年9月28日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会
会長 藏内 勇夫

麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する 政令の一部を改正する政令並びに麻薬及び向精神薬取締法施行規則 の一部を改正する省令の施行について (通知)

このことについて、平成28年9月14日付け薬生監麻発0914第1号をもって、厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令(平成28年政令第306号)の公布に伴い、別添写しの3物質が新たに向精神薬に指定され、平成28年10月14日から施行される旨を通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

※詳細については、日本獣医師会ホームページ(新着情報)をご覧ください。また、向精神薬の取扱いについては、厚生労働省ホームページから「病院・診療所における向精神薬取扱いの手引き」をご確認ください。

28日獣発第189号

平成28年10月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について

このことについて、平成28年9月23日付け環自野発第1609234号をもって、環境省自然環境局野生生物課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき、本年度も10月より野鳥における当該ウイルス保有状況調査を実施する旨を通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※詳細（別添含む）については、日本獣医師会ホームページ（新着情報）をご覧ください。

広告

松研の動物用生物学的製剤



こわい狂犬病から
ほくをまもってね

■ 松研狂犬病TCワクチン

動物用医薬品

要指示医薬品

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- M/バック レンサ 注
- M/バックイニエ
- 松研M/バック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

※豚用ワクチンは要指示医薬品です。

研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社



〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.32.ocn.ne.jp/~matsuken>
E-mail: matsuken@cf.mbn.or.jp

切り抜きニュース

周囲の声掛け 何よりも —地下鉄転落事故1ヵ月—

東京都港区にある東京メトロの青山一丁目駅で、盲導犬を連れた男性が転落死した事故は15日で1ヵ月となった。関係団体は現場の調査や視覚障害者への聞き取りを実施。結果を踏まえて国や鉄道各社へ早急なホームドア設置など要望したが、改めて「盲導犬は万全ではない。事故防止には周囲の声掛けが何より重要」と理解を求めた。

▷危険な駅

「ホームと電車の間が大きく空いている」「人混みで線路側に押されてヒヤリとする」。事故後の8～9月、全国61の視覚障害者団体が加盟する日本盲人会連合(東京)は、視覚障害者ら57人に緊急アンケートを行った。その結果、何らかの危険を感じるとの声が寄せられたのは、都内の55駅にも上った。

最多の10人が危険を指摘したのはJR飯田橋駅。カーブしたホームに停車した車両との間には、最大で約30センチの隙間ができる。高低差も約20センチ。国内で最も利用客が多い駅の一つのJR新宿駅はホームドアがなく、実際に「柱にぶつかりホームに落ちた」と答えた人もいた。

「結果を真摯(しんし)に受け止めたい」と取材に答えたJR東日本。日盲連などは今後、アンケートで危険とされた駅を調査した上で、国や鉄道各社に対し、ホームドアの設置など安全対策の改善を求めていくとしている。

▷不安

9月2日、日本盲導犬協会(東京)が横浜市で運営する神奈川訓練センター。記者がアイマスクをして、障害物が置かれている廊下を歩く体験を試みた。

トントントン…。最初は白杖を持って地面をたたきながら進むが、事前に廊下の様子は見ておらず、段差や障害物がないか常に不安が付きまとう。いつのまにか独り言も増え、約60秒を往復するのに10分かかった。

次にアイマスクはそのまま、盲導犬としてのデビューに近い訓練犬と同じ廊下を歩く。「ゴー!」。盲導犬歩行指導員の多和田悟さん(63)の掛け声で、訓練犬が勢いよく歩き出すと、ぐいぐい引っ張られる。「早い早い…。約3分で往復することができ、白杖よりも不安を感じた場面は少なかった。

▷声掛け

全国には視覚障害者の目となって活躍する盲導犬が約960頭いる。かつてと比べ、飲食店や商業施設でも盲導犬への理解は格段に広まっているが、ある関係団体は「盲導犬はスーパードッグではない」と指摘する。

多和田さんによると、盲導犬は道順を記憶しているのではない。

「道の端に沿って歩く」ことを原則として、「進む、避ける、止まる」の三つの行動で、曲がり角や段差、電柱や看板といった障害物の存在を伝えるのが役目。次にどのような行動を取るかは、視覚障害者が自ら判断しなければならない。

今回の事故が起きた東京メトロでは全179駅のうち、ホーム上の点字ブロックに柱がかかっていたのは、2割弱の32駅に上る。ブロックの突起がすり減った場所もあるなど状況はさまざまで、全ての危険を視覚障害者が1人で判断することは不可能に近い。

36年間にわたり盲導犬と暮らす郡司七重さん(71)は「盲導犬を連れていけば大丈夫ということではない。視覚障害者に危険が迫っていると感じたら、周囲から積極的に声を掛けてほしい」と訴えている。 平成28年9月16日 埼玉新聞

保護犬猫 シニアと生きる —一時預かりボランティアも—

捨てられて保護される犬や猫。高齢だったり病気を抱えていたりして新たな飼い主が見つかりにくい場合もあります。

「ペットがほしいけど最後まで飼えるか不安」というシニア層に、そういう犬や猫の「受け皿」になってもらおうという動きが広がっています。

横浜市の有料老人ホームで、高梨司郎さん(78)、

玲子さん（73）夫妻は猫のみー（メス、推定7、8歳）と暮らす。ホームは「生活科学運営」（東京都港区）が運営し、ペット同居可だ。

飼い始めたのは3年前。司郎さんの気持ちが沈むことが多くなったのがきっかけ。動物愛護団体「ちばわん」の譲渡会で代表の扇田桂代さん（41）と知り合い、譲り受けた。扇田さんは「人柄や緊急時に連絡が取れる人が周りにいるかなどを勘案して、譲渡を決めています」と言う。

横浜市の病院職員、梶原由美子さん（79）は、東京電力福島第一原発事故のあとに同県川内村で保護されたクリ（オス、推定8歳）を動物保護団体「ニュータウン動物愛護会」から引き取り、育てている。クリは保護した時から後ろ脚がまひしており、いまでも梶原さんが1日2回、おむつ交換をしている。

梶原さんはクリ以前にも24匹の保護犬、保護猫を引き取り、みとってきた。引き取るのはすべて高齢だったり、病気を抱えていたりする犬猫。

「高齢の子たちなら、自分でもまだ面倒が見られると思って」と話す。

ニュータウン動物愛護会では、犬猫の平均寿命を考え、子犬や子猫は60歳以下の人にしか譲渡しないが、高齢や病気がちの犬猫は高齢者にも譲渡している。同団体の日向千絵代表は「高齢者の方は経済的、時間的に余裕のある方も少なくない。考慮のうえ、たとえば65歳の方には5歳以上の犬猫を譲渡するようにしています」。

動物愛護団体「日本動物福祉協会」でも、新しい飼い主が見つからない保護犬、保護猫を、一時的に預かってもらうボランティアとして高齢者世帯に期待する。

犬や猫にとっては保護施設で多頭飼育されること自体がストレスになることもある。

一方で、ペット本位の考え方ができる高齢者ほど、自身の健康や寿命を考慮して新たに犬猫を飼うことをためらう傾向がある。このため、バックアップ体制を整えた上で、高齢者に一時預かりボランティアをしてもらう。

同協会調査員の獣医師は、「一時預かりボランティアという形でつながることが、双方にとって良い関係につながるのではないかと話している。

（太田匡彦、湊彬子、山田理恵）

平成28年9月27日 朝日新聞

ネコの腎不全 ネズミで原因 解明

—東大など 治療薬に期待—

ネコの腎不全は、血液中にあるたんぱく質が働かないために起きることをマウス実験で突き止めたこと、東京大などの研究チームが12日発表した。ネコは他の動物と比べて腎不全で死ぬ割合が突出して高いが、原因は謎だった。治療法の開発につなげたいとしている。

東大の宮崎徹教授（疾患生命科学）によると、人間やマウスでは、血液中にある「AIM」というたんぱく質が、急性腎不全で腎機能が低下すると活発化し、腎臓内の尿の通り道にたまった老廃物の除去にかかわっている。ネコのAIMを調べると、人間やマウスよりも血液中に多く存在しているが、急性腎不全の時に働いていなかった。

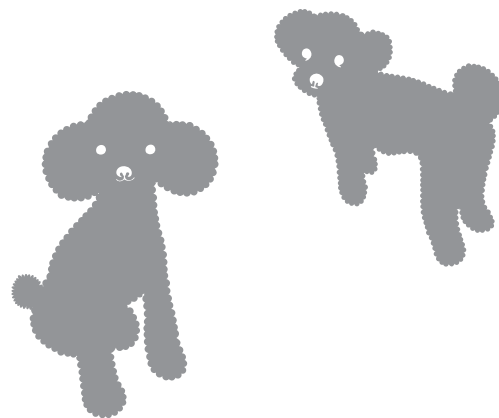
さらに、ネコのAIMをつくるように遺伝子を操作したネコ型マウスと、通常のマウスのそれぞれに急性腎不全を発症させてみた。

ネコ型マウスは3日後までに腎機能が悪化してすべて死んだが、通常のマウスは5日後までに7割が生きていた。別のネコ型マウスに、通常マウスのAIMを注射すると、腎機能が改善したという。

宮崎教授は「ネコの腎不全を予防し、寿命を延ばせる可能性が出てきた。ネコでAIMがきちんと働く薬を3、4年のうちに製品化したい」と話す。

論文が12日の英科学誌サイエンティフィック・リポーツ電子版に掲載された。（川村剛志）

平成28年10月14日 朝日新聞



平成28年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成28年10月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月 5 日(日)		北支部 「動物の呼吸器疾患の診断と治療」 日本大学 山谷 吉樹 先生 (深谷市 深谷市男女共同参画推進センター)	
6 月17日(金) ～19日(日)	第92回日本獣医麻酔外科学会／第104回日本獣医循環器学会／第59回日本獣医画像診断学会 2016春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7 月18日 (月・祝)		東支部 「皮膚をアップデートする！ 世界獣医皮膚科会議をふまえて」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7 月24日(日)		南第一支部・南第二支部 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後 (2)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川口市 川口総合文化センター)	
8 月			
9 月 4 日(日)		東支部 「日常の診療に役立つ!!運動器疾患に対する最新の 情報を知っておこう～猫の整形外科疾患・超 音波検査を中心とした新たな画像診断手法～」 日本大学生物資源科学部 枝村 一弥 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
9 月11日(日)	平成28年度 関東・東京合同地区獣医師大会(川崎)、獣医学術関東・東京合同地区学会 (神奈川県川崎市 ホテルKSP)		
10月 2 日(日)		南第一支部・南第二支部 「猫の腎臓病」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
10月12日(水)	北支部 「開発者から伝えたい、明日からの 診療に役立つ…抗菌薬情報」 鹿児島大学 松本 修治 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月22日(土)	北支部・しゃくなげ会・畜産技術振興会 「仔牛の飼養管理と疾病予防 対策について」 酪農学園大学 大塚 浩通 先生 (深谷市 埼玉県農林公園)		
10月30日(日)		西支部 「犬の循環器診療アップデート」 東京動物心臓病センター 岩永 孝治 先生 (川越市 川越西文化会館)	
11月27日(日)		東支部 「遭遇頻度の高い脳疾患」 日本獣医生命科学大学 長谷川 大輔 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月 4 日(日)		西支部 「猫の循環器診療アップデート」 東京動物心臓病センター 岩永 孝治 先生 (川越市 川越南文化会館)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
12月11日(日)		北支部 「難治性消化器官疾患と内視鏡検査（仮）」 日本大学 亙 敏広 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館 さくらめいと)	
12月18日(日)		南第一支部・南第二支部 「犬の特発性てんかん・特発性脳炎の診断と治療」 東京大学 松木 直章 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
12月22日(木)	農林支部 平成28年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉県民健康センター)		
平成29年 1月15日(日)		西支部 「膝関節疾患へのアプローチと外科テクニック」 東京大学動物医療センター 本阿彌 宗紀 先生 (川越市 川越南文化会館)	
1月15日(日)		北支部 「緑内障の診断と治療」 どうぶつ眼科Eye Vet 小林 一郎 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
1月29日(日)		さいたま市支部 「疾患と問題行動の関わり」 東京大学附属動物医療センター 荒田 明香 先生 (場所 未定)	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月24日(金) ～26日(日)	平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（石川） (石川県立音楽堂ほか)		
3月5日(日)		さいたま市支部 「災害時の対応」 東京大学附属動物医療センター 荒田 明香 先生 (場所 未定)	
3月12日(日)		西支部 「上部呼吸器診療（仮）」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (場所 未定)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|------------|---|-----------|--|
| 9月15日 | 平成28年度第1回畜産懇話会（さいたま市 別所沼会館） | 12月11日 | 北支部学術講習会（熊谷市 さくらめいと） |
| 9月22日 | 彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2016（加須市 パストラル加須） | 12月18日 | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会（さいたま市 ソニックシティ） |
| 9月23日 | 日本獣医師会 第3回理事会（東京都港区 明治記念館） | 12月22日 | 埼玉県家畜保健衛生業績発表会（さいたま市 埼玉県県民健康センター） |
| 9月30日 | 第1回開業部会第一・第二運営委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 平成29年 | |
| 10月2日 | 南第一支部・南第二支部合同学術講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ） | 1月15日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） |
| 10月10日 | 第38回埼玉県獣医師会ソフトボール大会（吉見町 吉見総合運動公園） | 1月15日 | 北支部学術講習会（深谷市 埼玉グランドホテル深谷） |
| 10月12日 | 北支部学術講習会（熊谷市 熊谷家畜保健衛生所） | 1月29日 | さいたま市支部学術講習会（場所 未定） |
| 10月21日 | 第60回埼玉県公衆衛生大会（さいたま市 さいたま共済会館） | 2月12日 | 埼玉県獣医師会ボウリング大会（さいたま市 スポーツ浦和国際ボウル） |
| 10月22日 | 北支部・しゃくなげ会・畜産技術振興会合同学術研修会（深谷市 埼玉県農林公園） | 2月15日 | 平成28年度第3回関東・東京合同地区獣医師会理事会（川崎市 川崎日航ホテル） |
| 10月30日 | 西支部学術講習会（川越市 川越西文化会館） | 2月17日～19日 | 第13回日本獣医内科学アカデミー学術大会（神奈川県横浜市 パシフィコ横浜） |
| 11月9日 | 日本獣医師会全国獣医師会会長会議（福岡県北九州市 リーガロイヤルホテル小倉） | 2月24日～26日 | 平成28年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（石川）（石川県金沢市 石川県立音楽堂ほか） |
| 11月10日～11日 | 第2回世界獣医師会-世界医師会 “One Health” に関する国際会議（福岡県北九州市 リーガロイヤルホテル小倉） | 3月5日 | さいたま市支部学術講習会（場所 未定） |
| 11月12日 | 日本獣医師会主催2016動物感謝デーin JAPAN（福岡県北九州市 西日本総合展示場） | 3月12日 | 西支部学術講習会（場所 未定） |
| 11月15日 | 平成28年度新入会員研修会（さいたま市 埼玉農業共済会館） | | |
| 11月27日 | 東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ） | | |
| 12月4日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） | | |
| 12月7日 | 集合狂犬病予防実施者講習会（さいたま市 市民会館おおみや） | | |

編集後記

駆け足で秋が過ぎ去ってゆくようです。気象庁によると、今年の9月の平均気温は平年より1.6℃高く、日中最高気温30℃以上の真夏日が10日もあり、10月の平均気温は平年より低下する傾向があるので、体で感じる秋は短かったようです。したがって、歳を重ねた者のみが感じたことではなかったのです。短いからこそ秋は郷愁を誘い、暮夜に浮かぶ月に受験時代に学んだ李白の五言絶句『静夜思—静かなる夜の思い』が思い出されます。記憶をたどれば、

床前に月光を見る
疑うらくは是れ地上の霜かと
頭を挙げて山月を望み
頭を低れて故郷を思う

唐代の佳人は、秋の暮夜静かに思いを巡らしていたのに、受験生は辛いなと思いつつも一瞬は遥か彼方の唐に思いを馳せたことが思い出されます。

さて、地上のことに思いを戻せば10月は会員の皆様や家族とともに楽しいひと時を過ごすソフトボール大会が2年ぶりに行われました。昨年は会場が豪雨災害により使用できなくなりましたが、今年は天候に恵まれ会員、家族、スタッフや協賛各社の人々の参加を得て楽しく集うことができました。来年も多くの人びとと共に楽しむことができることを祈念いたします。

今年もノーベル賞受賞者が我が国から生まれました。『命をつなぐ細胞内リサイクル機能とも言えるオートファジーに関する研究』で東京工業大学の大隅良典栄誉教授がノーベル生理学医学賞を受賞されました。生命現象の基本原則は単細胞生物に存在するとの前提で酵母を対象として『自ら (Auto)』を『食べる (Phagy)』ことにより危機に瀕した酵母が命をつなぐ機構を身に備えていることを発見しました。このことは多細胞生物である動物における疾患起因細胞のオートファジー機構を阻害することにより疾患の治療に応用可能な技術の基礎となる発見でした。地球誕生から今日まで過酷な環境下にあっても生命体はその命をつなぎ、進化した生物をも誕生させてきました。一方では、常に個の生命体には誕生とともに老化と死が約束されるように遺

伝子が構成されています。無機質の見える単細胞生物の生命の基本原則から見える生命の真理は、人間の生きる心理を指し示しているように思われます。

李白は、天地は万物の逆旅、光陰は百代の過客なりと言っています。この詩になぞらえると、遺伝子からみた生命観は、『生物は一代の逆旅にして、遺伝子は百代の過客なり』とも言えるのではないかと田沼靖一氏は『死生学 3』（東京大学出版会）で述べています。その意味は、ヒトを含む生物は一回性を生きています。言うなれば、ひとつの宿屋のなかを、二度とない遺伝子の組み合わせが通り過ぎてゆきます。その過程で新たな遺伝子を創り上げて個体は死んでゆきます。遺伝子からみれば、ひとつの生命体は、無限に続く旅の一つの通過点に過ぎません。遺伝子に支配された死がその個体を土に還すまでの時間を生きる意味とは、その個体自身にあるのではなく、次の世代に何を残すかということにあるのではないのでしょうか。その何かとは、高等生物の人間にとっては形として認識できない、高い倫理観に裏打ちされた精神性であるとか、慈愛というものの以外にはないのではないのでしょうか。

我々と共通の祖先を持つジンギスカンは嘗て史上最大の帝国を築きましたが、正倉院や大英博物館にあるような遺物はありません。しかし、モンゴル人の誇りは、心の中に世界制覇した精神があるとのことだそうです。蒙古斑を持つ我々の遠い祖先は、中華の辺境にあるモンゴル草原を馬で駆け、縁あって万里の波濤を超えてこの列島に定住しました。馬を捨て地に働くようになってから精神も変貌しましたが、時空を超え李白やジンギスカンが見たであろう月は、今日の我々の心に写る月も同じ月と思われれます。経済的繁栄により心の目が曇り物欲に苛まされるこのごろですが、暮夜静かに心の遺伝子と向かい合い太古から続く遺伝子に感謝し、この体をこき使って一回性の遺伝子の夢へ思いを馳せました。

天候不順ですが会員の皆様をご自愛されることを願い、10月号をお届けいたします。
(初雁)



株式会社 **アスコ**
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

**営業所
所在地**

- ・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

皮膚・被毛 腸内環境 抗酸化成分

胃腸と皮膚が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.1
成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

抗酸化成分 心臓・腎臓 活力の維持

血流と健康が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.2
中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

国産品 小分けパック 毛玉対応

下部尿路が気になる成猫に



ドクターイデア
Dr. IDEA No.1
成猫用 総合栄養食 150g×6入

森久保薬品株式会社 神奈川：046-221-0620 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 山梨：055-224-5278 栃木：028-666-3399 茨城：029-241-3131
つくば：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564